



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています！
あたたかい親子コミュニケーションを！

東濃地区の子育て・親育ちつうしん
家庭教育 なう

平成30年12月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当 奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL: 0573-26-1111 (内線 209)
FAX: 0573-25-7129
MAIL: q02042@govt.pref.gifu.jp

冬の行事は、親子の絆を深めます

クリスマスのケーキ。子ども達はケーキを切る親の手をじっと見ている。同じ大きさに切ってほしいと願いながら・・・

切り分けられたケーキは、親の愛情の象徴なのです。同じ大きさに切ってほしいと言うことで、子どもは、同じだけ愛してほしいと言っているのです。たかがこんなことで・・・と思わずに、できるだけ子どもの要求を聞き入れ、人を平等に扱うよい手本を示してほしいのです。



「子どもが育つ魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルトより

クリスマスにお正月・・・子ども達にとってこれから楽しい行事が続きます。家族揃って食事をする機会も多くなります。楽しい食事の記憶は、愛された証として心に刻まれ、生きる力につながります。家族の団らんの時間を大切にして、親子の絆を深めましょう。

家庭教育学級の紹介



**恵那市上矢作乳幼児期家庭教育学級
防災教室「子づれ防災」**

日時 平成30年11月27日(火) 10:00~12:00
場所 恵那市立上矢作こども園
参加者 乳幼児親子(4組) 上矢作こども園未満児(9名) 保育士(4名)
講師 恵那市女性消防隊(3名)

講演会型
体験活動型



わが子の命を守る防災を学ぶ家庭教育学級

恵那市女性消防隊の皆さんは、「自分の命は自分で守る。しかし小さい子は自分で守れない。小さい子は、お母さん、お父さん、家族が守ってあげる。わが子を守る備えをしましょう。」という思いから、市内全13地区の内の12学級を回って防災教室を開催しています。

活動の内容

☆日々の事故防止について

- ・自宅を子どもの目線を見て、危険な物はないか確認する。
- ・子どもから目を離さない。子どもは、さっきまでできなくても、見てすぐできてしまう。コンセントに注意、サッシは二重ロック。
- ・誤飲の場合の異物除去の実習。

☆子づれ防災について

- ・避難袋には、月齢に応じた非常持出品を入れる。
- ・ローリングストックがおすすめ。お出かけバッグが避難所に持っていく避難袋になる。使ったら入れる。足しながら使っていくと、不足する物がなくなり、月齢に合わせた備えができる。
- ・兵児帯おんぶの実習と、バスタオルとフェイスタオルで作る防災頭巾の作り方の紹介。



赤ちゃん人形を使った実習



女性消防隊の方の講話

【このよさを学びたい！】

- ・実際にあった乳幼児の事故の事例を挙げながら話をされ、起こるかもしれないこととして受け止めることができたこと。
- ・子づれで避難するときに必要な物が具体的に分かったこと。
- ・実習があり、子どもの命を守るためにしなければいけないことが体験できたこと。
- ・コミュニティーセンター、支援センター、こども園、消防署が連携していること。

中津川市立坂本小学校家庭教育学級 「ドリームマップ」

体験活動型
在宅取組型

日 時 平成30年11月28日(水) 8:45~15:45
場 所 中津川市立坂本小学校
参加者 6年生児童全員 保護者 保護者役員(3名)
講 師 こどものみらいプロジェクト ゆめドリ ドリマ先生(9名)



親子で未来の夢を考える家庭教育学級

坂本小学校では、4年前から、PTA花の木委員会(母親委員会)が6年生親子に呼びかけて、ドリームマップに取り組んでいます。東海地方の各地区から来校した9名のドリマ先生が、4クラスに分かれて入り、指導してくださいました。子ども達は、1時間目から4時間目まで使って、ドリームマップを作り、5・6時間目に発表会をしました。発表会では、保護者も参観し、わが子の夢を聴きました。

活動の内容

- ★ドリームマップを知る。夢のために、将来こうなりたい、なんとか叶えたい、どうしたら叶うか。
- ★まず自分のことを知る。どんな人になりたいか。どんなことをしたらいいか。
- ★ドリームマップを作る。なりきって書く。楽しくなる言葉を書く。夢を叶えた自分になりきる。



ドリームマップ作りの説明

グループで交流しながらドリームマップ作り

【このよさを学びたい!】

- ・自分を振り返り、自分の良さに気付くことで、自己肯定感が育まれること。
- ・仲間の良さを見つけ、応援し合うつながりができること。
- ・夢を考え合うことで、家族の絆が深まり、協力し合い、応援し合う家族関係が育まれること。

恵那市立中野方こども園家庭教育学級 「親子お茶会」

体験活動型
子育てサロン型

日 時 平成30年12月5日(水) 9:45~11:30
場 所 恵那市立中野方こども園
参加者 年長児親子(13組)
講 師 お茶の先生(元園長)西尾サキ子 氏



親子で作った茶碗でいただくお茶会から笑顔が広がる家庭教育学級

10月の親子陶芸教室で作製した茶碗を使って、親子お茶会が開かれました。子ども達は、西尾先生から、一人一人お作法を習い、自分で作った茶碗でお抹茶をいただきました。その後、お家の方がお茶席に着き、子ども達がお運びをして、お茶を振る舞いました。落ち着いた静かな時間が流れ、お家の方にも子ども達にも、穏やかな笑顔が広がりました。

活動の内容

- ★子ども達一人一人が入室からのお作法を習い、お茶をいただく。
- ★子ども達がお運びをし、お家の方にお茶を振る舞う。
- ★西尾先生から掛け軸「心静万事佳」の意味をお聞きする。



焼き上がった世界に一つだけの茶碗

【このよさを学びたい!】

- ・陶芸教室からお茶会までの流れがある活動で、茶碗を通して親子や親同士の交流ができること。
- ・掛け軸の意味から、園長先生が最後に「一日心静かに過ごせるといいね」と話され、お茶会の体験が生活につながっていくこと。



子ども達がお家の方にお茶を振る舞いました